

群馬県「まちうち再生総合支援事業」の 評価と課題



群馬高専のロゴマークです。

金子 弘 (群馬県)
塚田 伸也 (前橋市)
佐藤 恵英 (玉野総合コンサルタント)
◎森田 哲夫 (群馬工業高等専門学校)

1

内 容

1. はじめに
2. まち再事業の概要と支援実績
3. まちの魅力の評価
4. まち再事業の実施状況とまちの魅力
5. おわりに (課題、そして大震災)

2

1. はじめに

1.1. 研究の目的

- a. 群馬県「まちうち再生総合支援事業(まち再事業)」の概要、12年の支援実績

【まち再事業】県が市町村のまちづくり活動を支援する事業。
主に、市町村と住民が協働で行う、参加型まちづくり、ソフト対策への支援。1998年創設。

- b. 地域からみた「まちの魅力」、まち再事業の評価視点

- c. まち再事業の実施状況とまちの魅力の関係

※安心・安全、まちづくりの人材・組織に重点をおいて報告します。

3

1.2. 本研究の意義

- a. 研究としての意義…
- b. 群馬県のまちづくり活動と成果、「まち再事業」のPR
- c. 事業効果を地域からみたまちの魅力で評価
→今後の事業のあり方検討の資料

4

2. まち再事業の概要と支援実績

2.1. まち再事業の概要

(1) 支援メニュー

まちづくり塾事業	「これから何か始めたい」とか「活動に行き詰まっている」とか「何かアドバイスが欲しい」などの悩みをお持ちの住民団体等や市町村のために、専門家を派遣します。
まちづくりリーダー育成事業 (パートナーネットワーク講座)	まちづくりに必要な知識やワークショップ技法を修得した「まちづくりリーダー」を育成するとともに、人材バンクとして登録活用することで、まちづくりの推進を図るものです。
まちうち再生総合支援事業 (まち再)	疲弊・空洞化している市町村のまちうち(拠点)を再生・活性化に向け、地域住民と市町村の一体的取り組みに対して、国の制度とも連携を図りながら総合的に支援する事業として平成10年度(1998)に創設したものです。

5

2.1. まち再事業の概要

(1) 支援メニュー

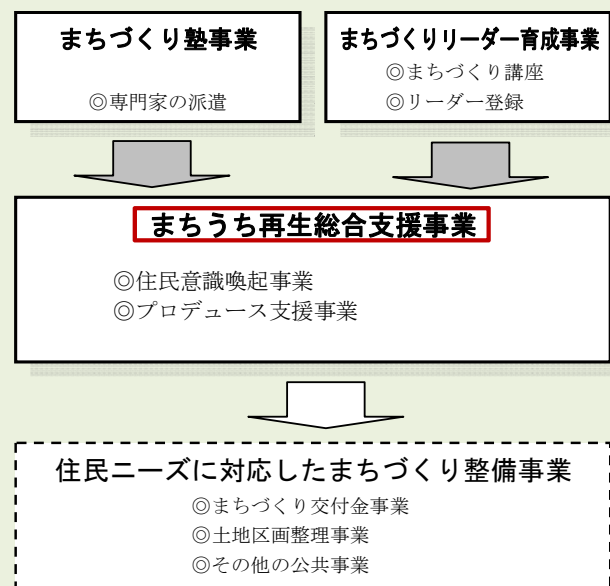
まちづくり情報誌	まちづくりを考える情報誌『おっ!! まっちい〜』を平成12年9月1日から発行しています。基本構成はA4版8ページカラー版で隔月(奇数月)発行。
まちづくり講演会・発表会	まちづくりの参考となる講演会の開催や県内各地のまちづくり活動の発表会を開催し、地域主導のまちづくりの推進を図ります。
上州の夏祭り (平成20年度まで)	県民主体の実行委員会形式で開催することにより、住民との協働手法の確立や住民主導の地域づくりへの発展を目指します。

出典:群馬県HP

6

2.1. まち再事業の概要

(2) 支援メニューの組み合わせ

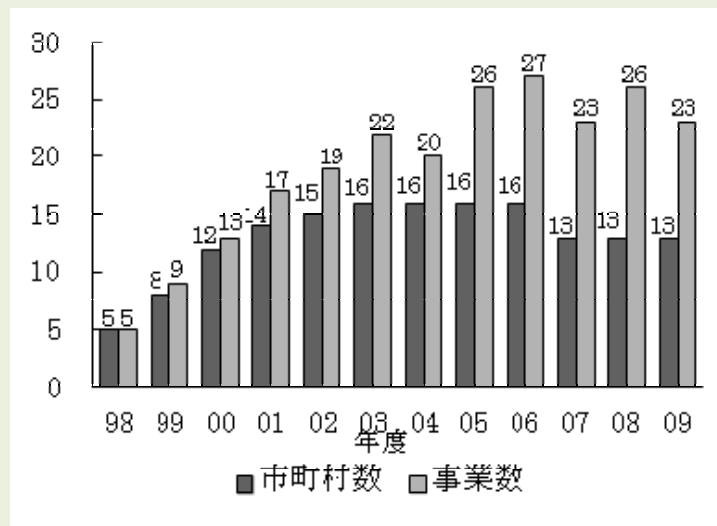


7

2.2. 支援実績と成果事例

(1) まち再の実施実績

◆実施市町村数・事業数(県内35市町村のうち23が活用)

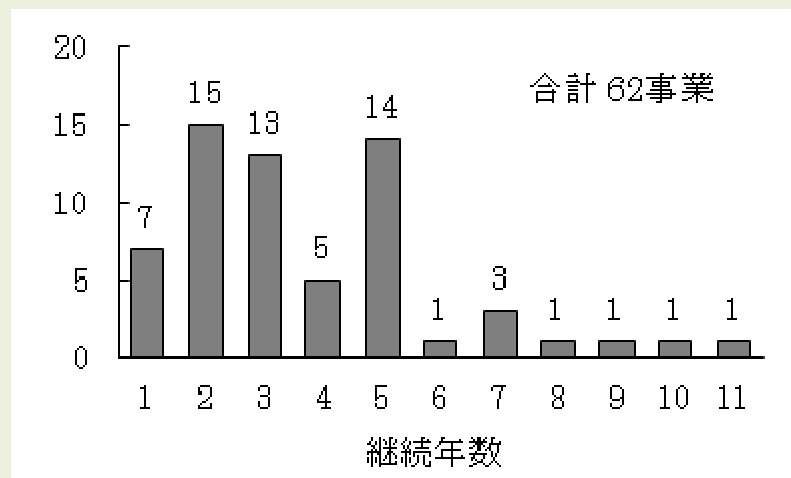


8

2.2. 支援実績と成果事例

(1) まち再の実施実績

◆継続年数別の事業数



9

2.2. 支援実績と成果事例

(1) まち再の実施実績

◆活動内容別の件数

活動内容	件数
中心市街地活性化	10
商店街活性化	10
特定地区のまちづくり(区画整理、IC周辺、駅周辺、駅広等)	8
観光まちづくり(世界遺産、伝建地区、観光地、温泉地等)	7
市町村全域のまちづくり、計画づくり	6
景観まちづくり(駅前通り、駅周辺地区、蔵、商店街等)	6
交通まちづくり(バス、レンタサイクル、TMO等)	5
市町村合併による旧町村のまちづくり等	5
祭・イベント開催	4
映画・音楽によるまちづくり	2
合 計	63

10

2.2. 支援実績と成果事例

(2) まち再による成果事例

朝日新聞提供



◆桐生市・・・のこぎり屋根建築の保存と活用('01-)

'08.3 「桐生新町まちづくり基本計画」の策定

'08.9 伝統的建造物群保存地区(市条例)

⇒ '11.3 東日本大震災による被害(震度6弱)

⇒ 重要伝統的建造物群保存地区(文化庁)へ



桐生市、桐生商工会議所提供



11

2.2. 支援実績と成果事例

(2) まち再による成果事例

◆富岡市・・・富岡製糸場を中心としたまちづくり('01-)

'06.1 富岡製糸場が国重要文化財に指定

'19.1 「富岡製糸場と絹産業遺産群」暫定リスト登載

'05-10 富岡中央地区都市再生整備計画(まち交)

⇒世界遺産登録(ユネスコ)へ



富岡市提供



12

2.2. 支援実績と成果事例

(2) まち再による成果事例

◆前橋市…マイバスとトランジットモール実現('98-)

- '02.6 北・南循環線運行開始、トランジットモール供用
- '07.11 南循環線運行開始
- '11.3 東循環線運行の社会実験
- '12.1 東循環線の本格実施



前橋市提供



2.2. 支援実績と成果事例

(2) まち再による成果事例

◆嬬恋村…「キャベチュー」によるまちづくり('06-)

'08.12 日本愛妻協会「地域づくり総務大臣表彰」

※キャベチューをきっかけに、全国各地で「愛を叫ぶ」イベント



嬬恋村提供



2.2. 支援実績と成果事例

(2) まち再による成果事例

◆六合村(現中条町)…赤岩地区のまちづくり('04-)

- '05.6 伝統的建造物群保存地区(村条例)
- '06.7 県内初の重伝建地区(文化庁)
- '07.1 「富岡製糸場と絹産業遺産群」暫定リスト登載
⇒世界遺産登録(ユネスコ)へ

六合村提供



3. まちの魅力の評価

3.1. まちの魅力の評価構造

(1) 分析方法

◆まちの魅力の評価構造図の作成

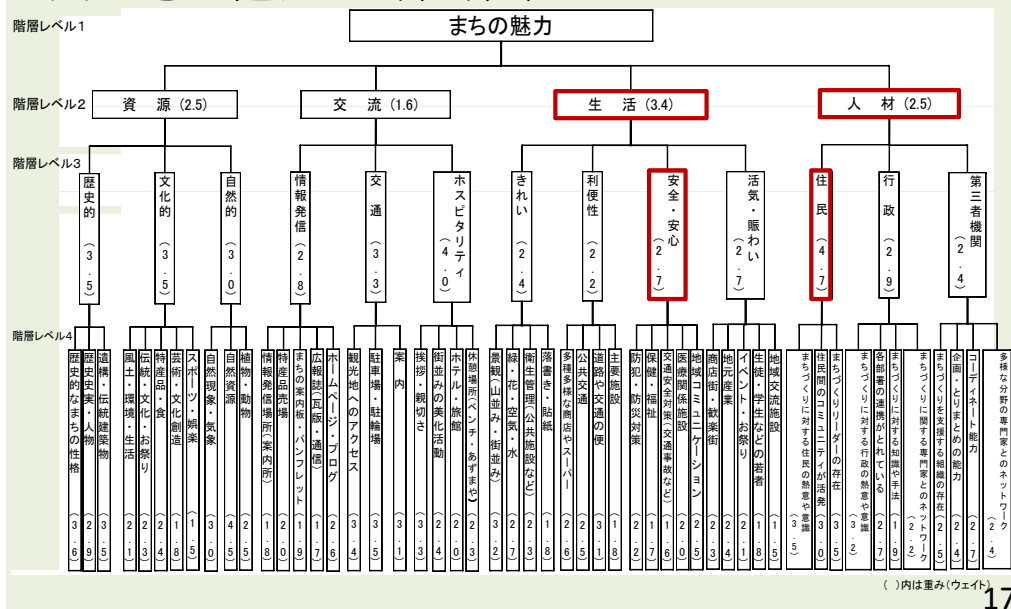
- まちづくりリーダーを育成するパートナーネットワーク講座の関係者28名(専門家、行政職員、受講者)
- ブレインストーミング、KJ法により作成

◆評価項目の重み付け

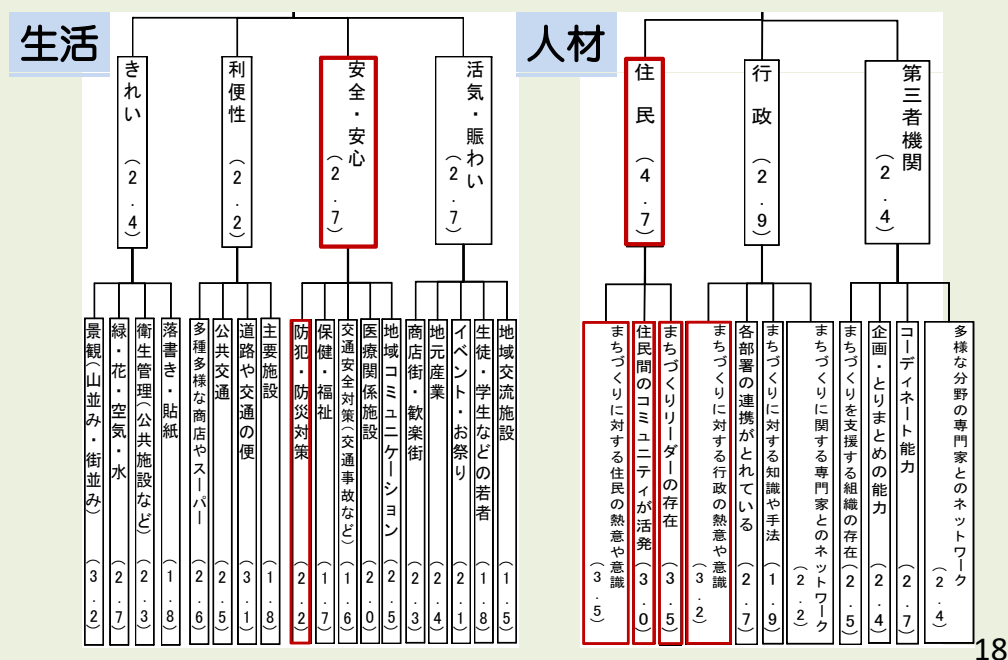
- アンケート調査の実施、評価項目の一对比較
- AHP法(幾何平均法)で重み付け

3.1. まちの魅力の評価構造

(2) まちの魅力の評価体系



3.1. まちの魅力の評価構造



3.2. まちの魅力の評価結果

(1) 評価方法

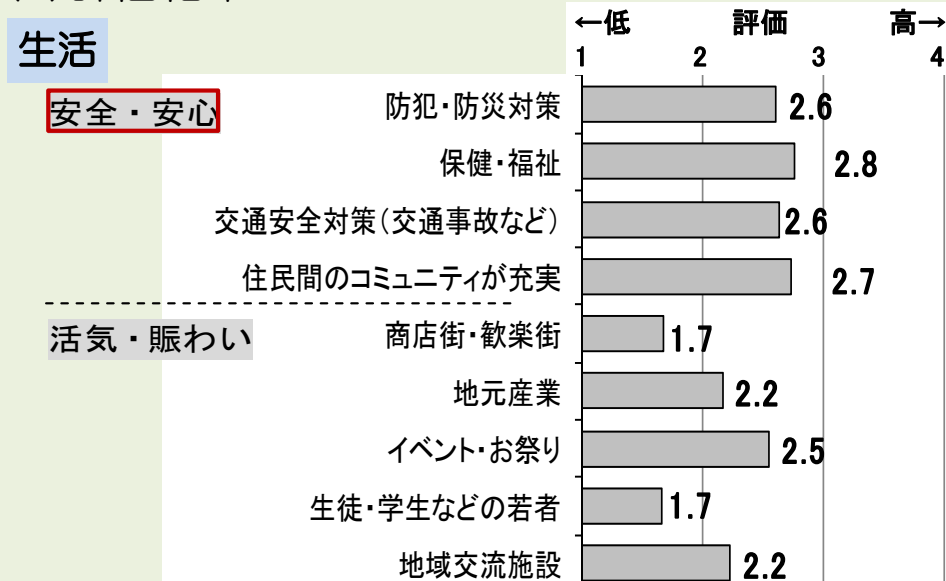
◆アンケート調査の実施

- まち再事業に参加した地域住民・地元行政職員
- 手渡し配布・郵送回収
- 配布数 540票、回収数 403票、回収率 74.6%
- 評価項目に関する4段階評価

◆評価項目別に評価結果を算出、平均

3.2. まちの魅力の評価結果

(2) 評価結果



3.2. まちの魅力の評価結果

(2) 評価結果

人材

住民

住民の熱意や意識

2.3

地域コミュニケーション

2.4

まちづくりリーダーの存在

2.2

行政

行政の熱意や意識

2.3

第三者 機関

まちづくりを支援する組織の存在

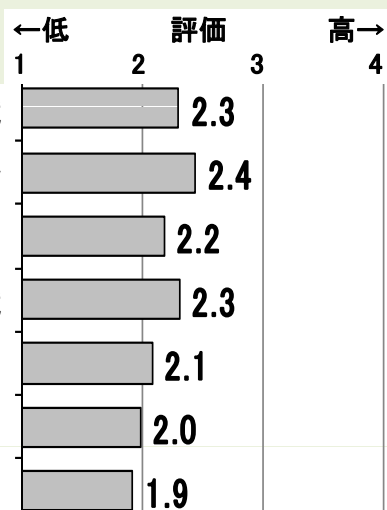
2.1

企画・とりまとめの能力

2.0

専門家とのネットワーク

1.9



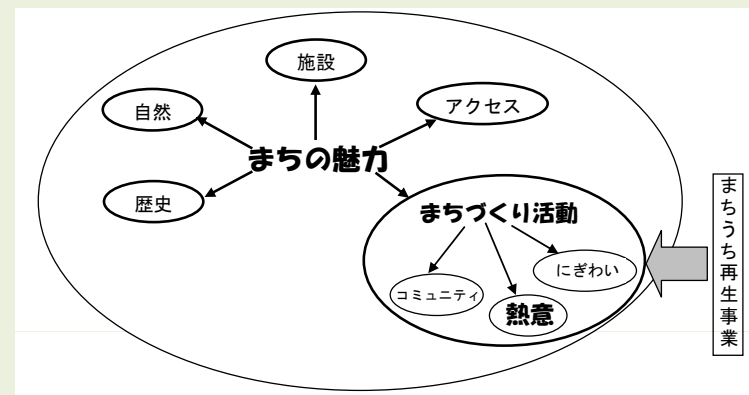
21

【参考】もう1つの分析

◆「まちの魅力」「まちづくり活動」「熱意」の関係分析

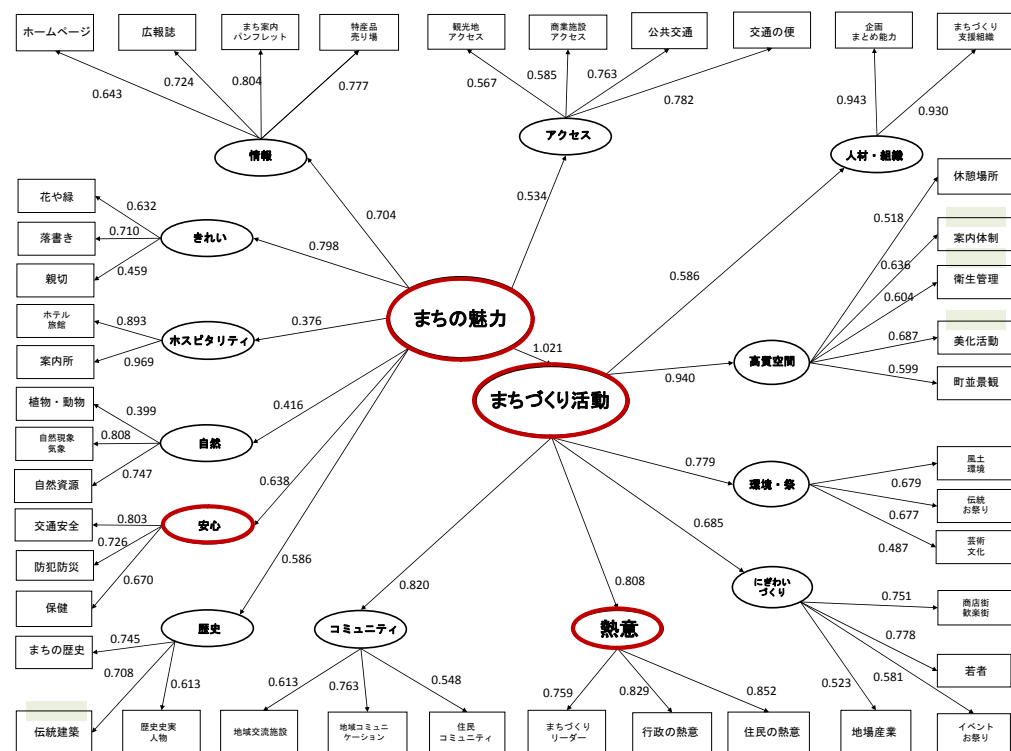
- 共分散構造分析

◆仮説図



出典:まちの魅力とまちづくり活動への熱意との関連についての分析-群馬県のまちうち再生総合支援事業を事例として-, (社)日本都市計画学会, 都市計画論文集, No.43-3, pp.277-282, 森田哲夫・塚田伸也, 2008.10

22



4. まち再事業の実施状況とまちの魅力

4.1. まち再事業の実施状況とまちの魅力

(1) 分析方法

◆市町村別にまちの魅力进行算出

- 住民の居住地、行政職員の勤務地で集計
- 自らのまちの魅力をどの程度に考えているか
- 評価結果が最高点の市町村(桐生市)を100点

◆まち再事業、まちづくり交付金事業(まち交事業)の実施状況との関係进行分析

24

4.1.まち再事業の実施状況とまちの魅力

順位	市町村	点数	まち再	まち交	順位	市町村	点数	まち再	まち交
1	桐生市	100	7年以上	○	21	吾妻町	83		○
2	上野村	96	なし		22	榛名町	83		
3	新町	96	7年以上		23	富士見町	83		
4	中之条町	94	7年以上	○	24	鬼石町	83	7年未満	
5	館林市	92	7年以上	○	25	前橋市	81	7年以上	○
6	下仁田町	91	7年以上	○	26	妙義町	81		
7	富岡市	90	7年以上	○	27	箕郷町	81		
8	高崎市	89	7年以上	○	28	昭和村	81		
9	沼田市	89	7年以上	○	29	千代田町	80		○
10	松井田町	89	7年未満		30	高山村	80		
11	板倉町	88	7年未満		31	明和町	79		
12	甘楽町	86	なし		32	北橋村	78		
13	片品村	86	なし	○	33	吉岡町	78		○
14	大泉町	86	7年以上		34	太田市	76	7年以上	○
15	邑楽町	85	なし		35	笠懸町	76		○
16	伊香保町	85	7年以上	○	36	倉沢村	75		
17	赤城村	84	7年未満		37	神流町	75	7年未満	
18	安中市	84	7年未満		38	藤岡市	75	7年未満	○
19	みなかみ町	84	7年以上	○	39	小野上村	74		
20	吉井町	84	7年未満		40	榛東村	69		

4.2. まちの魅力の比較分析

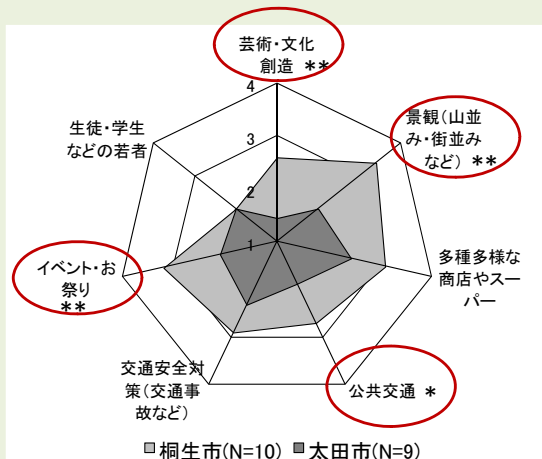
(1)分析方法

- ◆まちの魅力の評価結果の差異の要因を把握
 - まち再事業を7年以上、実施している市町村
 - 人口規模が同程度の市町村
 - 評価が高い/低い市町村 ⇒ 2市町×3ペア=6市町
- ◆市町村別に差異のみられた評価項目を比較
 - 「芸術・文化創造」、「景観」、「商店やスーパー」、「公共交通」、「交通安全対策」、「イベント・お祭り」、「生徒・学生などの若者」

26

4.2. まちの魅力の比較分析

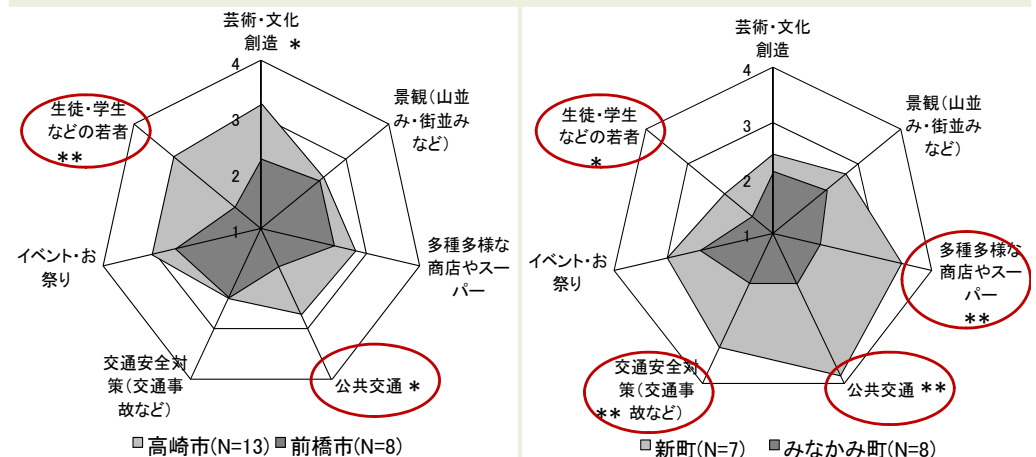
(2)分析結果



27

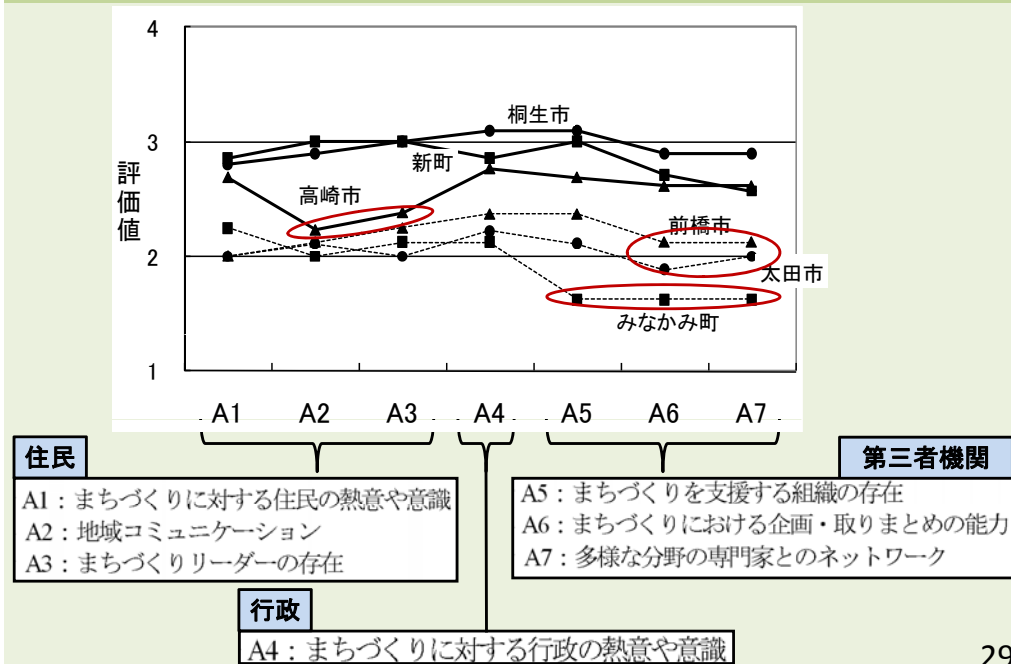
4.2. まちの魅力の比較分析

(2)分析結果



28

4.3. 「人材」に着目した比較分析



5. おわりに (課題、そして大震災)

5.1. 研究のまとめ (課題)

- ◆12年の事業からみた課題 (2章)
 - まちづくり活動自体がまちの魅力。市町村が、自ら、事業の成果を示す (定性的な成果も)。
⇒県が今後の事業のあり方を検討する。
- ◆まちの魅力からみた課題 (3章)
 - まちづくり初期段階における専門家派遣やリーダー育成を強化する。
 - 事業効果を定量的に評価する仕組みを構築する。
- ◆事業実施状況からみた課題 (4章)
 - 継続的に事業効果をモニタリング仕組みを構築する。
⇒県が事業効果、効率性・改善点を検討する。
 - 人材育成の強化・ネットワーク、組織づくり、「熱意」

30

5.2. そして大震災…

- ◆本報告は平常時。非常時には…
 - まちの魅力の「資源」「交流」よりも、「生活」「人材」が重要。
- ◆津波被災地では…
 - 生活: 「利便性」「活気・賑わい」、そして「安全・安心」
 - 人材: 「住民」のコミュニティ・リーダー・熱意
「行政」の熱意・各部署の連携、県・国任せにしない自らの計画づくり → 県・国の役割は?
- ◆原発被災地では…
 - 長期の避難「生活」の確保、安全・安心の確保 (子ども)
 - 住民のコミュニティの確保 (移転しても)
 - その前提である仕事の確保



31

ありがとうございました。

◎現在の研究テーマ (群馬高専・森田)

- 1. 都市・交通計画 (調査、計画)**
 - (1) バス計画、交通需要予測 (マクロ、ミクロ)
 - (2) 道路、バス、避難路ネットワークの評価 (グラフ理論)
- 2. 生活・行動、都市分析・評価**
 - (1) 首都圏計画、グリーンベルト、石川栄耀先生、戦災復興
 - (2) 公園・歴史建造物の評価、音風景の形成・評価、子どもの安全
 - (3) 都市イメージ評価、自由記述データの定量化 (テキストマイニング)
- 3. 総合的な都市環境評価**
 - (1) 正の魅力: 生活質、水・緑の魅力、水環境モデル、流域連携
 - (2) 負の魅力: 限界自治体、災害危険性、災害弱者、東日本大震災
- 4. 地域や市民参加による都市計画プロセス**
 - ・ 山村、イベント、都市施設に関するワークショップ (実践→研究)



32